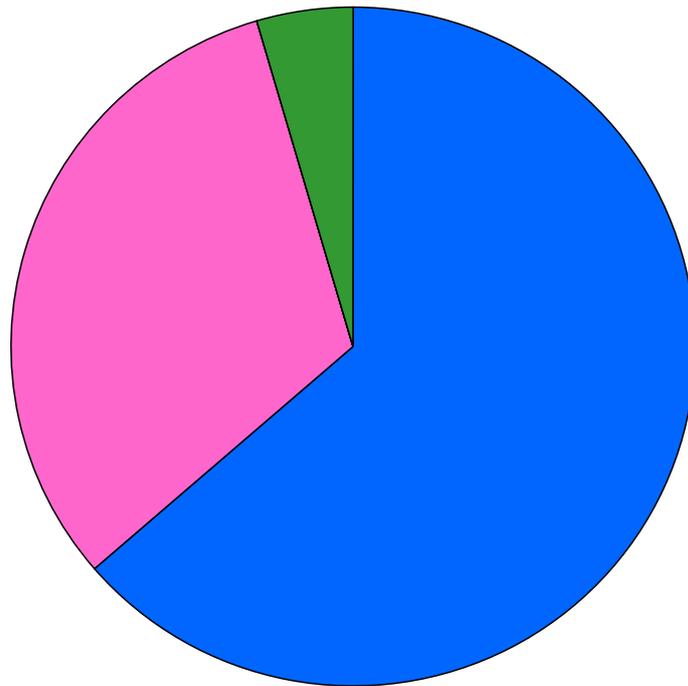


やねだん第34回故郷創世塾「超高齢社会×デジタル社会」をどう生きるか？

属性回答集計

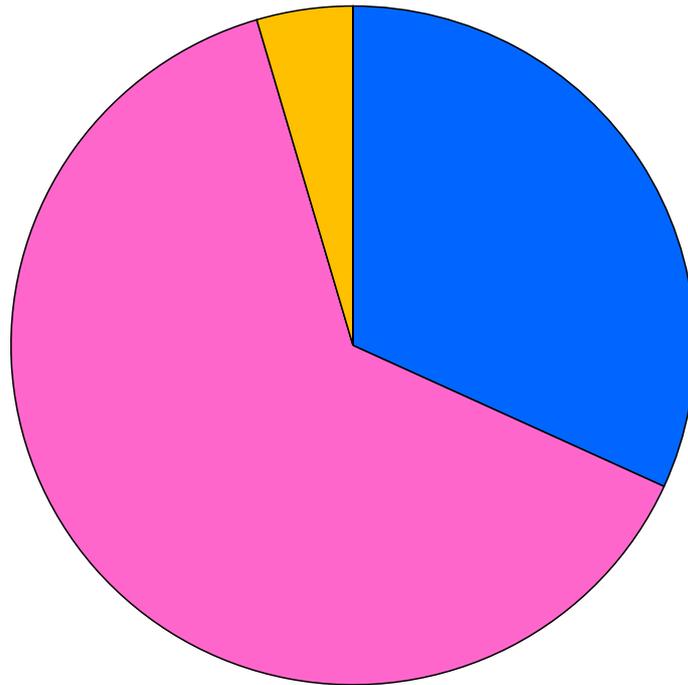
【属性】性別

No	回答	人数	%
1	男性	14	64
2	女性	7	32
3	性別無回答	0	0
4	未設定	1	5
合計		22	



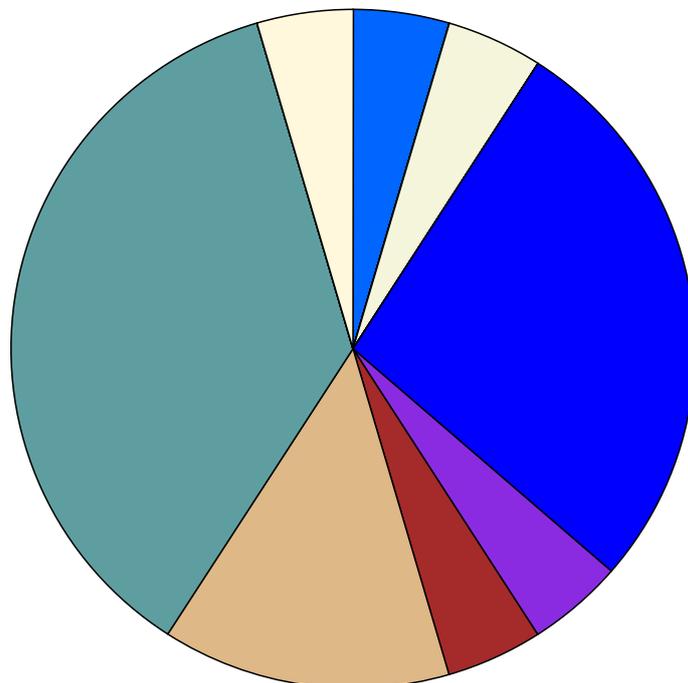
【属性】年代

No	回答	人数	%
1	アソシエイト（～34歳）	7	32
2	リーダー（35～59歳）	14	64
3	シニア（60歳～）	1	5
4	未設定	0	0
合計		22	



【属性】 職業

No	回答	人数	%
1	農業	1	5
2	林業	0	0
3	漁業	0	0
4	鉱業	0	0
5	建設業	0	0
6	製造業	0	0
7	電気・ガス・熱供給・水道業	0	0
8	情報通信業	0	0
9	運輸業	0	0
10	卸売・小売業	0	0
11	金融・保険業	1	5
12	不動産業	0	0
13	飲食店・宿泊業	0	0
14	医療・福祉	6	27
15	教育、学習支援業	1	5
16	複合サービス事業	1	5
17	サービス業（他に分類されないもの）	3	14
18	公務（他に分類されないもの）	8	36
19	分類不能の産業	0	0
20	学生（国内）	0	0
21	学生（海外）	0	0
22	無職	0	0
23	未設定	1	5
合計		22	

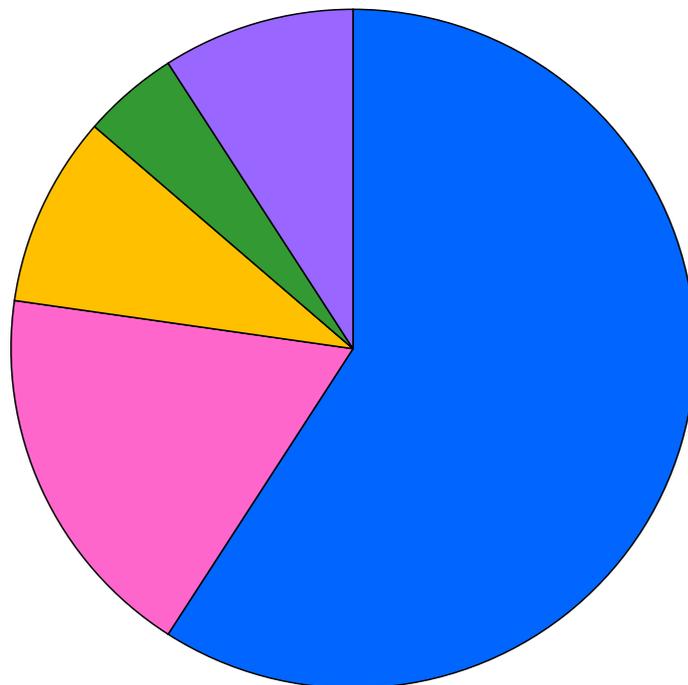


やねだん第34回故郷創世塾「超高齢社会×デジタル社会」をどう生きるか？

設問回答集計

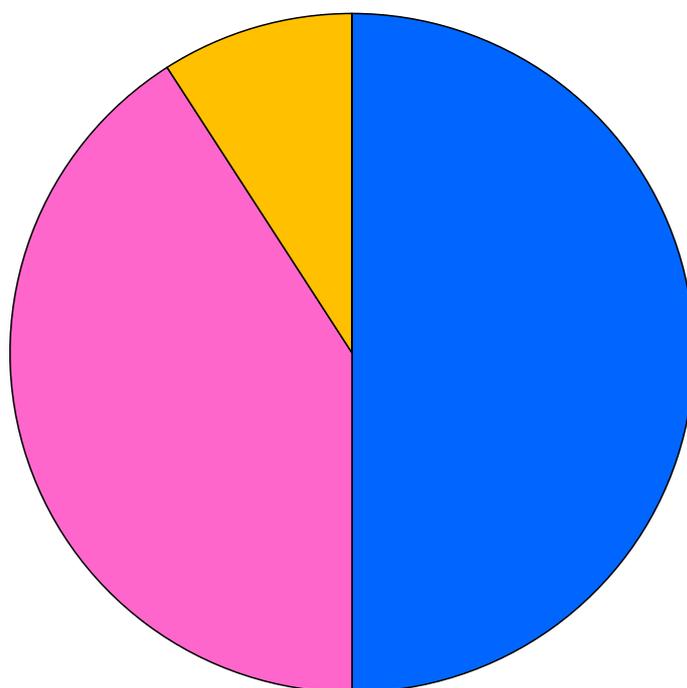
【Q1】日本社会の変遷、Society 1.0~Society 5.0について、あなたは理解していますか？

No	回答	人数	%
1	理解していない	13	59
2	あまり理解していない	4	18
3	ある程度理解している	2	9
4	理解している	1	5
5	他社に説明できる	2	9
合計		22	



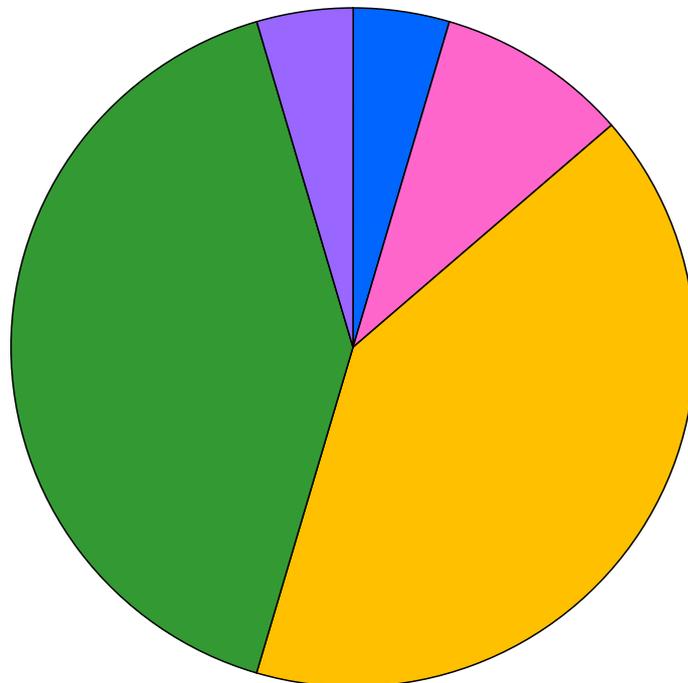
【Q2】あなたは、情報的健康について理解していますか？

No	回答	人数	%
1	理解していない	11	50
2	あまり理解していない	9	41
3	ある程度理解してい	2	9
4	理解している	0	0
5	他者に説明できる	0	0
合計		22	



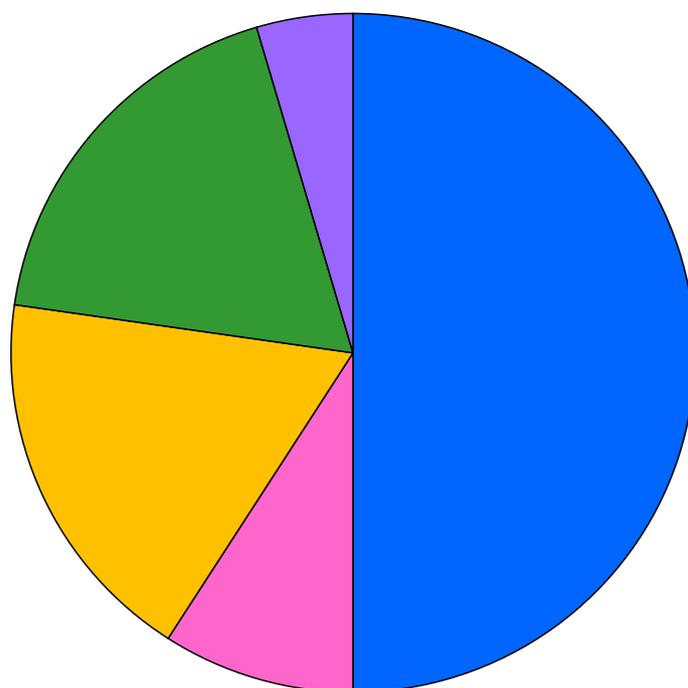
【Q3】日本は今、Society 5.0:デジタル社会であることを、あなたは実感していますか？

No	回答	人数	%
1	実感していない	1	5
2	あまり実感していない	2	9
3	ある程度実感している	9	41
4	実感している	9	41
5	その他	1	5
合計		22	



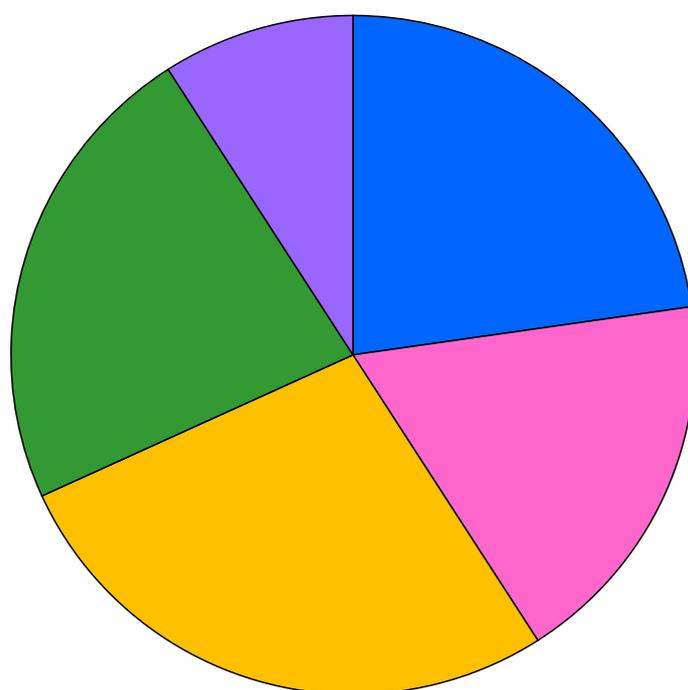
【Q4】あなたは、仕事でAIを活用していますか？

No	回答	人数	%
1	活用していない	11	50
2	あまり活用していない	2	9
3	ある程度活用している	4	18
4	活用している	4	18
5	他者を指導できる	1	5
合計		22	



【Q5】あなたは、日常生活でIoTを活用していますか？

No	回答	人数	%
1	活用していない	5	23
2	あまり活用していない	4	18
3	ある程度活用している	6	27
4	活用している	5	23
5	他者を指導できる	2	9
合計		22	



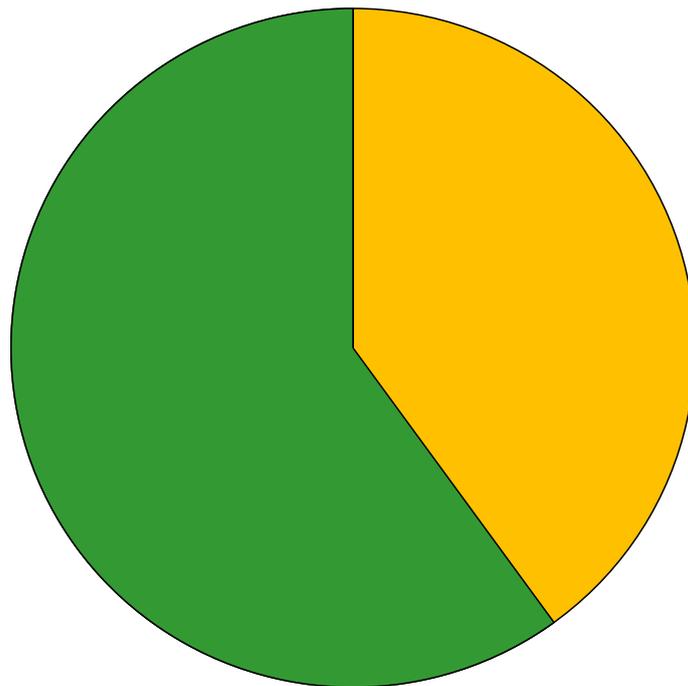
単元名 RA

アンケートタイトル やねだん第34回故郷創世塾

「超高齢社会×デジタル社会」をどう生きるか？

質問1 「超高齢社会 × デジタル社会」をどう生きるか？をご清聴頂きありがとうございました。Society5.0:デジタル社会について理解できましたか？
一つ選択してください。

No	解答	人数	%
1	理解できなかった	0	0%
2	あまり理解できなかった	0	0%
3	ある程度理解できた	4	40%
4	理解できた	6	60%
5	他者に説明できる	0	0%
合計		10	



質問2 「超高齢社会 × デジタル社会」をどう生きるか？をお聞きになり、ご意見・ご感想・質問等自由にお書きください。

【自由記述】

- ・今の80歳以上の方々が、デジタルで、体重や血圧だけをチェックするだけでは、健康かどうかは不安だなあと、両親の今をみつめて感じました。デジタル社会にはなっていますが、うまい使い方の成功事例がみてみたいです。
- ・テレビやネットにて時おり見かけるワードについてなんとなくしか考えたり、聞いていましたが、今後はより正確にとらえ、考えていく必要があると感じました。
- ・改めまして、53歳、追いついて行くのは大変ですが、ある程度は追いついて行かねばだなあと感じました
- ・上手く支え合える環境なら必要です！（そうあるべきですし）諦めずにいたいです。
- ・久保田先生が説明して頂いた、誰も置き去りにしないデジタル社会について非常に理解できました。まずはハード面（例）公民館にパソコンを導入する公民館長などを教育するなどを強化して、それを周囲の住民に広める、説明して行くところなんだと思いました。
- ・ありがとうございました
- ・これから様々な課題を解決するために、デジタル化の力が必要となっていくので日々学んでいきたい。
- ・独居高齢者への健康管理ネットワーク体制の話が興味深かったです。
- ・長寿化することで生きづらさが拡大することがとても気になります。デジタル社会がどう左右していくのかとても気になります。今日の講義ありがとうございました。

質問3 霞が関ナレッジスクエア（KK2）は、いつでもどこでも誰でも学べる”民設民営”の「デジタル公民館®」です。KK2に対するご意見・ご感想・質問等を自由にお書きください。

【自由記述】

- ・とてもたのしい試みだと思いますが、デジタルだけのキャッチボールは、少々、なれないわたしにとっては、つかれました。ごめんないい。
- ・今回初めて拝見しました。後学のため、少しずつ閲覧させていただきます。
- ・久しぶりにお顔を見られて嬉しかったです 公民館のお話、ものすごく伝わりました たくましく愉しく生きるための技術ですね
- ・人口減少の加速する日本ではデジタルが億劫と言っている場合ではない気がします！ 上手く活用したいです。
- ・ありません
- ・本日はありがとうございました。
- ・恥ずかしながら今日までKK2を知らなかったもので、これからどのように活用できるか学んでいきたい。個人的にはどのサイトがどんなデジタル知識を得られるのか体系的にわかるものがあると学びやすいではと思いました。